

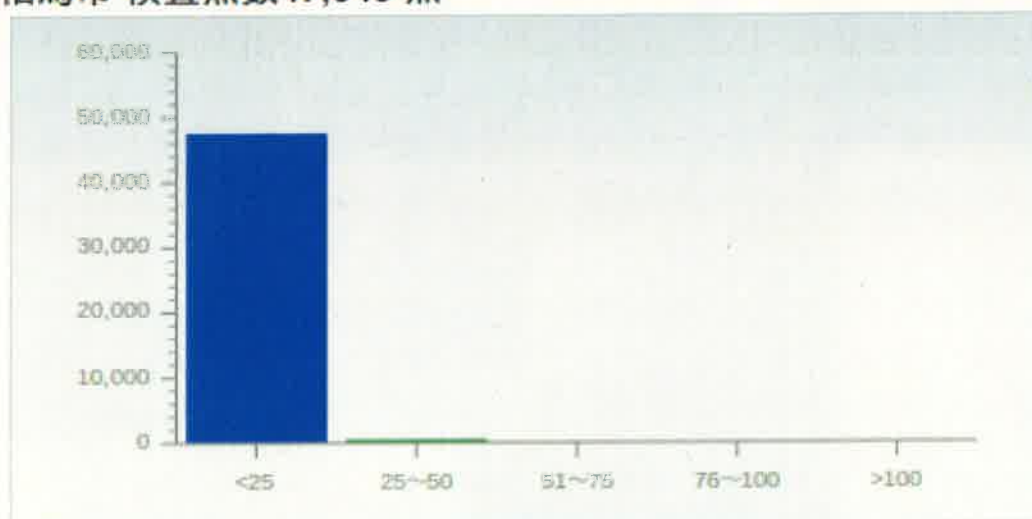
平成29年産米の全量全袋検査測定結果(平成30年2月6日時点)

検索結果 平成29年産

地域: 南相馬市
 検査期間: 2017年08月29日～2018年01月23日
 検査点数: 47,049 点

集計結果 平成29年産

南相馬市 検査点数47,049 点



<スクリーニング検査>

	25 ⁺ ケル/kg (測定下限値)未満	25~50 ⁺ ケル/kg	51~75 ⁺ ケル/kg	76~100 ⁺ ケル/kg	計
検査点数	47,047	0	0	0	47,047
割合	100%	0%	0%	0%	100%

<詳細検査>

	25未満 ⁺ ケル/kg	25~50 ⁺ ケル/kg	51~75 ⁺ ケル/kg	76~100 ⁺ ケル/kg	100 ⁺ ケル/kg超	計
検査点数	1	1	0	0	0	2
割合	0.0021%	0.0021%	0%	0%	0%	0.0043%

- このグラフは便宜上、[スクリーニング検査](#)と[詳細検査](#)(※)の結果を合算しております。なお、詳細検査(※)実施したものは、その結果を反映させています。
- ※ H29年産米からは、[追加検査](#)の結果も含まれます。
- 検査方法毎の詳細内容は、[こちら](#) を御覧ください。
- 放射性セシウムは、セシウム134とセシウム137の合計値。
- 割合は、スクリーニング検査と詳細検査の合計点数に対する割合であり、小数点第2位、第4位及び第5位未満を四捨五入しています。

東大食に南相馬産米

「原発事故乗り越えた」

東京電力福島第一原発事故に伴う避難指示が大半の地域で解除された福島県南相馬市で収穫されたコメが、東京大学駒場キャンパス（目黒区）の学生食堂で15日から期間限定で提供される。原発事故から7年近くたった今も風評被害に苦しむ同市の生産者は「福島のコメはうまくて、安全と知ってほしい」と呼びかけている。



学食で使われる南相馬市産のコメを持つ根本さん（中央）ら（目黒区）

80歳根本さん 涙の稲作再開

コメは、同市小高区の農家、根本流一さん（80）が1・7畝の水田で有機栽培で育てたコシヒカリ60㎡。同キャンパスの食堂「Dinner & 銀杏」で、岩手県産サバの苗田揚げなどの「復興定食」（550円）のご飯として提供される。

根本さんの水田は、福島第一原発から約12キロ離れているが、事故後はコメ作りができなくなった。18歳から農業一筋の根本さんは、「もったいないと涙が止まらなくなった」と振り返る。

除染が終わり、本格的に稲作を再開したのは昨年春、秋に収穫した「メヌケ」

つちりとしたかつてと変わらぬ味で、うれしさのあまり思わず涙ぐんだという。同市で農地の環境回復に取り組む同大の児玉龍彦教授の計らいで、学食を運営する東大生協の職員を紹介してもらい、コメが提供さ

れることになった。出荷前検査で放射性セシウムは検出限界値未満だった。小高区で2017年に作付けされた水田の面積は21畝で、原発事故前の10年の2%にとどまる。根本さんは「原発事故を乗り越えて作った不屈のコメをおながいばい食べてほしい」と

話す。提供されるのは15と26日の平日午前11時と午後2時で、学生以外も利用でき

南相馬市産米に係る平成29年度放射性物質 モニタリング結果報告書

平成29年12月20日

農林水産省
福島県

目次

[南相馬市産米に係るモニタリング結果の概要]	1
1 平成29年南相馬市産米の全量全袋検査結果	3
2 モニタリング結果	
(1) 大気浮遊じん・降下物モニタリング	4
(2) 農業用水のモニタリング	6
(3) 収穫前籾のモニタリング	7
(4) 稲のイメージングプレート	8

[南相馬市産米に係るモニタリング結果の概要]

- 南相馬市で実施されている米の全量全袋検査においては、全て基準値以下。
- 大気浮遊じんのモニタリング及び降下物のモニタリングにおいては、通常と異なる顕著な変動を示したデータは認められない。
- 農業用水のモニタリングにおいては、作付を行っている水田の農業用水(真野川水系、新田川水系、太田川水系及び小高川水系)の水質を測定し、これまでと比べ顕著な変動を示したデータは認められない。
- 収穫前の籾のモニタリングにおいては、全て放射性セシウムは検出されていない。
- 稲の生育期間中のイメージングプレート分析の結果、葉および籾への付着は認められない。

1

29年度のモニタリング項目 (大気浮遊じん・降下物、用水、籾、稲体のIP)

モニタリング項目	測定内容・項目	測定箇所
大気浮遊じん・降下物	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大気浮遊じんは、大気中に浮遊している「ちりやほこり」に含まれる放射性物質量を測定。 ・ 降下物は、水を充填した水盤を用いて、一定期間水盤に降下した放射性物質量を測定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大気浮遊じん:8(49)地点 ・ 降下物:10(32)地点 <small>※ ()内は、福島県全体の地点数</small>
農業用水	<ul style="list-style-type: none"> ・ 南相馬市内において作付を行っている水田の農業用水(真野川水系、新田川水系、太田川水系及び小高川水系)の水質を測定。 ・ 測定項目: (用水中の懸濁態及び溶存態のCs134・137の濃度) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調査箇所: ダム、用水路等15地点 ・ 調査時期: 中干し前後(6月、8月)に各1回 ・ 調査内容: Cs134及びCs137 (検出下限値はCs134、Cs137とも0.1Bq/L)
収穫前籾の調査	<ul style="list-style-type: none"> ・ カントリーエレベーターへ搬入する米の収穫前に、圃場から籾を採取し、放射性セシウムの測定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調査箇所: 市内のカントリーエレベーターへ搬入する圃場20地点
稲体の定期的なイメージングプレート	<ul style="list-style-type: none"> ・ 南相馬市内で生産される29年産米について、作付から収穫までの間で稲体の採取を定期的に行い、それらのイメージングプレートにより稲体への放射性物質の直接付着の有無を確認。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 南相馬市内で8箇所 (降下物調査地点と同一、または近隣のほ場)

2

1 平成29年南相馬市産米の全量全袋検査結果

○ 南相馬市で実施されている米の全量全袋検査においては、全て基準値以下。

表1 全量全袋検査の結果(2017/8/29 ~ 2017/12/14)

	25Bq/kg (測定下限値)未満	25~50 Bq/kg	51~75 Bq/kg	76~100 Bq/kg	計
スクリーニング検査	46,796	0	0	0	46,796
追加検査	1	1	0	0	2
合計 (割合)	46,797 (99.9979%)	1 (0.0021%)	0 (0%)	0 (0%)	46,798 (100%)

注:追加検査とは、スクリーニング検査の結果、測定下限値(25Bq/kg)以上、スクリーニングレベル以下の米を対象に、ゲルマニウム半導体検出器による分析を行ったもの。

2 モニタリング結果 (1) 大気浮遊じん・降下物モニタリング

○ 大気中に浮遊している大気浮遊じんに含まれる放射性物質質量及び一定期間に降下した降下物の放射性物質質量を測定。
○ 通常と異なる顕著な変動を示したデータは認められていない。

図1 測定地点(南相馬市)

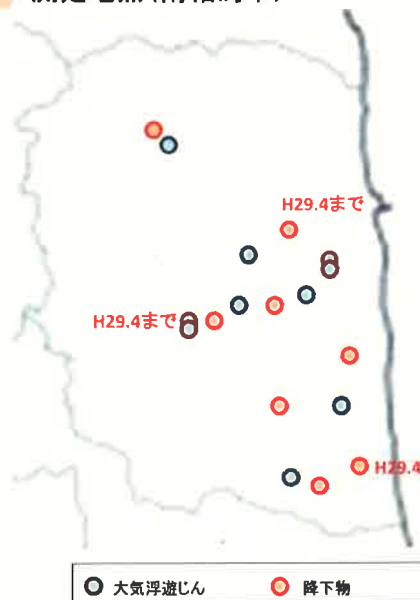


図2 大気浮遊じんのモニタリング結果

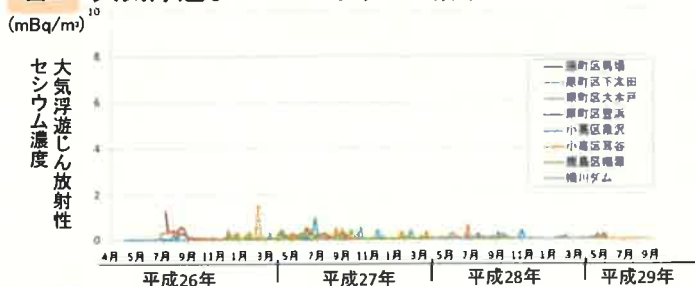
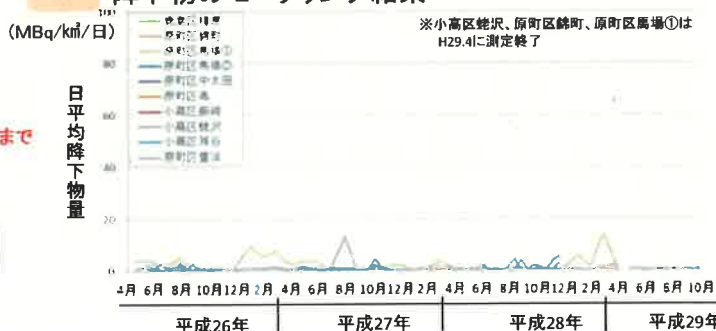
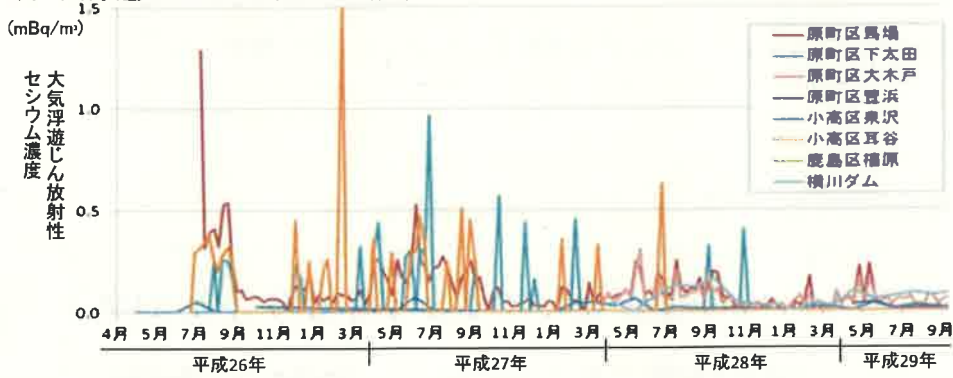


図3 降下物のモニタリング結果

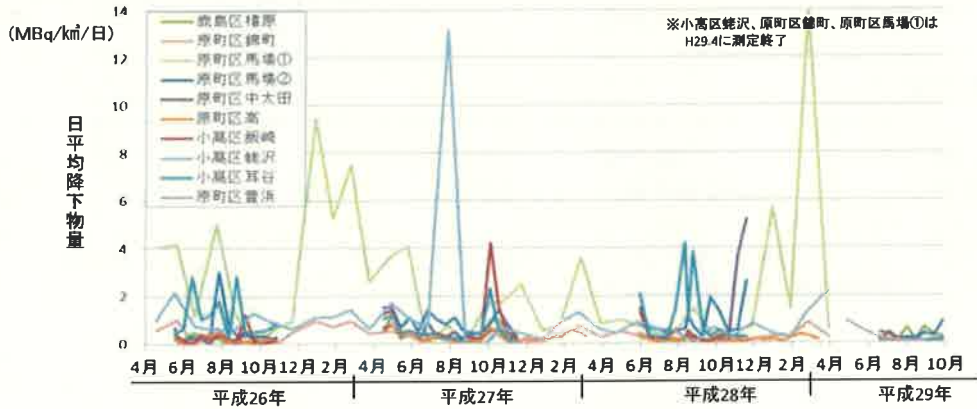


【参考】変動を見やすくするため過去データ最高値が縦軸のMAXに近くなるように作成したグラフ

(1) 大気浮遊じんモニタリング結果



(2) 降下物のモニタリング結果



(2) 農業用水のモニタリング

- 南相馬市内で作付を行っている水田の農業用水(真野川水系、新田川水系、太田川水系及び小高川水系)の水質を測定。
- これまでと比べ異なる顕著な変動を示したデータは認められていない。

表2 南相馬市内用水の水質調査結果

No.	水系	種類	放射性Cs (Cs134+Cs137)																					
			水質(ろ過前)(Bq/L)								水質(ろ過後)(Bq/L)													
			H25.10	H26.5	H26.6	H26.7	H26.8	H27.6	H27.8	H28.6	H28.8	H29.6	H29.8	H25.10	H26.5	H26.6	H26.7	H26.8	H27.6	H27.8	H28.6	H28.8	H29.6	H29.8
1	真野川	用水路	—	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
2	真野川	用水路	—	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	
3	新田川	貯水池	0.3	0.3	0.4	0.3	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	
4	新田川	取水堰	0.2	0.1	0.2	0.2	0.4	0.2	0.2	<0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	
5	新田川	取水堰	0.2	<0.2	0.2	0.2	0.3	0.2	0.1	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	—	—	—	—	
6	新田川	ため池	—	0.2	0.2	0.2	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
7	新田川	用水路	—	0.3	<0.2	<0.2	0.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.2	—	—	—	—	—	—	
8	太田川	河川	0.9	0.8	0.7	0.6	0.8	0.5	0.5	0.3	0.3	0.3	0.4	0.4	0.4	0.3	0.4	0.3	0.3	0.2	0.3	0.2	0.3	
9	太田川	貯水池	1.1	0.8	0.9	0.8	0.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
10	太田川	貯水池	0.6	0.4	0.5	0.4	0.3	0.2	0.3	0.3	0.4	0.2	0.4	0.5	0.1	0.3	0.3	0.2	<0.2	0.2	0.3	0.3	0.2	
11	太田川	取水堰	0.6	0.3	0.5	0.4	0.4	0.2	0.4	0.3	0.4	0.3	0.3	0.5	0.2	0.3	0.3	0.3	0.1	0.3	0.2	0.4	0.2	
12	太田川	取水堰	0.7	0.4	0.5	0.4	0.4	0.3	0.4	0.4	0.4	0.2	0.2	0.6	0.2	0.3	0.3	0.3	0.1	0.3	0.3	0.4	<0.2	
13	太田川	取水堰	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.3	0.4	0.2	0.3	0.2	0.2	0.4	0.2	0.3	0.3	0.3	<0.2	0.2	0.2	0.3	0.2	
14	太田川	取水堰	0.5	0.4	0.6	0.5	0.6	0.4	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.4	0.2	0.2	0.3	0.3	0.1	0.3	0.3	0.2	0.1	
15	太田川	取水堰	0.4	0.4	0.5	0.5	0.6	0.3	0.5	0.1	0.3	0.2	0.2	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2	<0.2	0.1	0.1	
16	太田川	取水堰	0.2	0.3	0.4	0.5	0.6	0.2	0.2	<0.2	0.2	<0.2	0.1	0.2	0.2	0.2	0.3	0.3	0.1	0.2	—	0.1	<0.2	
17	太田川	用水路	0.4	0.4	0.5	0.4	0.5	—	—	—	—	—	—	0.4	0.2	0.3	0.3	0.3	—	—	—	—	—	
18	太田川	用水路	0.3	0.5	0.5	0.3	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2	0.1	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1	0.2	<0.2	
19	太田川	用水路	0.2	0.3	0.4	0.6	0.5	—	—	—	—	—	—	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	—	—	—	—	—	
20	太田川	用水路	—	<0.2	水路に水なし				—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
21	小高川	用水路	—	0.2	0.2	0.2	0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	—	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	0.1	—	—	—	—	
22	小高川	用水路	—	0.2	0.2	0.2	0.2	—	—	—	—	—	—	—	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	—	—	—	—	—	
23	小高川	用水路	—	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
24	宮田川	用水路	—	<0.2	<0.2	<0.2	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.2	—	—	—	—	—	—	
25	新田川	取水堰	—	—	—	—	—	0.2	0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	—	—	—	—	<0.2	<0.2	—	—	—	—	

注:「—」調査せず

(3) 収穫前籾のモニタリング

- カントリーエレベータへ搬入する前に圃場から籾を採取し、放射性物質を調査。
- ゲルマニウム半導体検出器による分析では、いずれの地点においても、放射性セシウムは検出されなかった。

図4 調査地点

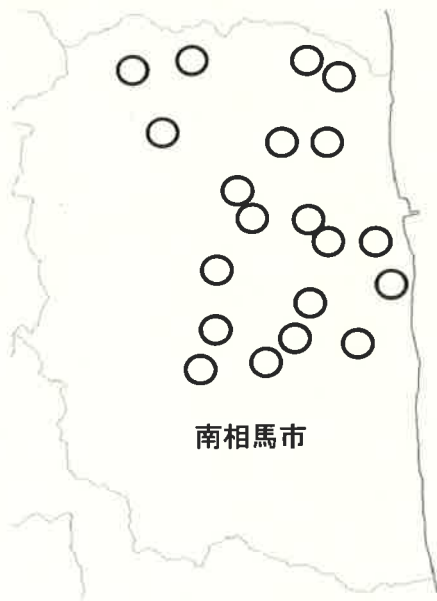


表3 籾の放射性セシウム濃度

No.	地区 大字	Cs134(Bq/kg)	Cs137(Bq/kg)
1	鹿島 上栢窪	検出せず (<9.2)	検出せず (<10.2)
2	鹿島 山下	検出せず (<6.4)	検出せず (<6.6)
3	鹿島 北屋形	検出せず (<7.6)	検出せず (<7.5)
4	鹿島 南屋形	検出せず (<4.6)	検出せず (<7.4)
5	鹿島 塩崎	検出せず (<4.7)	検出せず (<5.4)
6	鹿島 小山田	検出せず (<7.0)	検出せず (<9.4)
7	鹿島 檜原	検出せず (<4.6)	検出せず (<5.4)
8	原町 北新田	検出せず (<4.4)	検出せず (<5.9)
9	原町 上渋佐	検出せず (<7.6)	検出せず (<8.8)
10	原町 深野	検出せず (<7.8)	検出せず (<8.3)
11	原町 北長野	検出せず (<5.2)	検出せず (<6.0)
12	原町 上高平	検出せず (<5.9)	検出せず (<5.3)
13	原町 牛来	検出せず (<7.5)	検出せず (<9.7)
14	原町 石神	検出せず (<5.9)	検出せず (<5.6)
15	原町 中太田	検出せず (<9.5)	検出せず (<7.3)
16	原町 大壘	検出せず (<8.5)	検出せず (<9.9)
17	原町 泉	検出せず (<5.3)	検出せず (<6.1)
18	原町 馬場	検出せず (<8.2)	検出せず (<8.6)
19	原町 矢川原	検出せず (<5.3)	検出せず (<6.0)
20	原町 片倉	検出せず (<8.9)	検出せず (<10.3)

7

(4) 稲のイメージングプレート

- 8地点において、分けつ期～幼穂形成期(7月5日)、幼穂形成期～出穂期(8月2日)、成熟期(9月19日(5地点)、10月4日(3地点))に試料を採取し、イメージングプレート(IP)で放射性物質の反応を確認。7～8月は葉のみ、9～10月は葉と籾を調査。
- 作付から収穫までの間の試料全てにおいて、付着は確認されなかった。

図5 イメージングプレート分析の経過(写真は8地点中1地点の例)

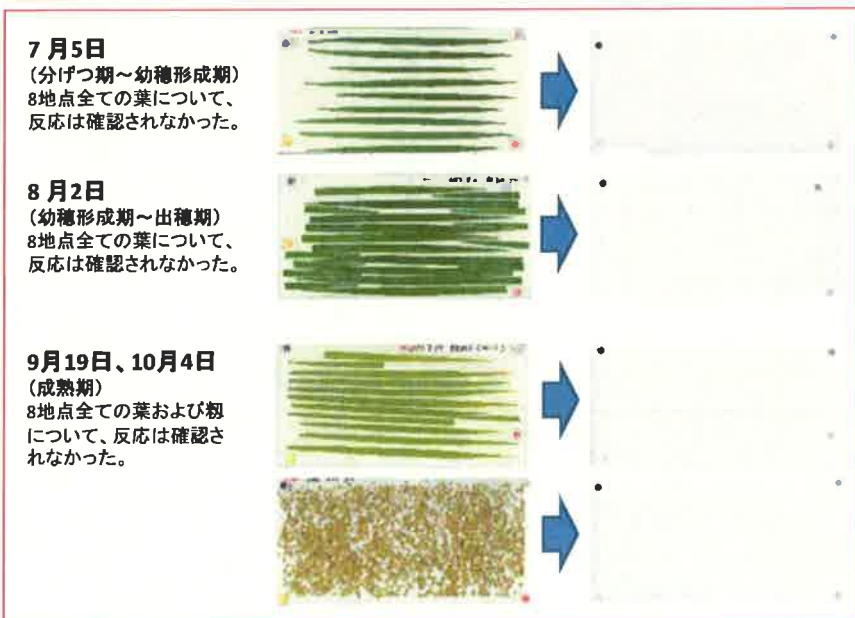
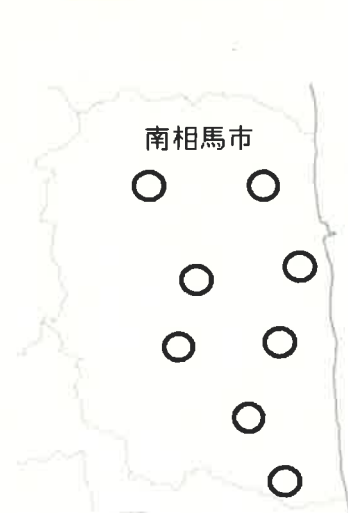


図6 調査地点



8